

2019年8月3日～2019年8月9日

2019年8月14日

先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りも低下しました。

中国が1米ドル=7人民元を超える人民元安を容認したことを受けて、米中貿易戦争懸念が強まったことから、カナダの金利は大幅に低下しました。また、投資家のリスク回避姿勢の強まりにより円高が進行したため、カナダ・ドルは対円で下落しました。

経済指標では、住宅関連の指標が複数発表になっており、強弱まちまちの結果になりました。また、雇用統計が発表になっており、雇用者数は予想外に減少し、失業率も悪い結果となりました。

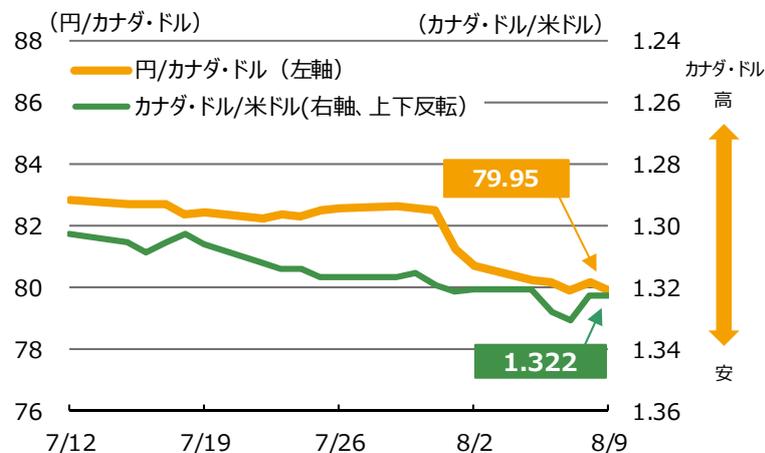
今週の見通し

今週はカナダでは、重要な経済指標の発表は特にありません。米国ではCPI（消費者物価指数）、小売売上高の発表があります。CPIはすでに発表されており、予想よりも強い結果になったため、米国金利が上昇し、それに連れてカナダの金利の上昇圧力も高まりました。

足元では、米国が対中国の追加関税を巡り一部品目の発動延期を発表したことを受け、貿易戦争懸念が後退したため、カナダの通貨、金利の上昇圧力が強まっています。貿易を巡る米中の動きに今後も市場が振らされることが想定されるので、注目が集まります。

カナダ・ドル 為替推移

(2019年7月12日～2019年8月9日)

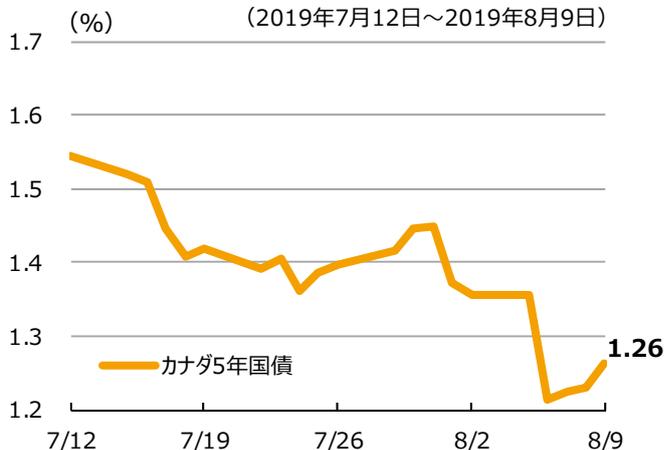


※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

カナダ 金利推移

(2019年7月12日～2019年8月9日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。